

2016年度

第28回

全国グループホーム等研修会 九州地区大会 in 福岡

開催要綱

「地域全体で支える体制の構築」
～これからの地域支援体制とは～



期日 平成28年7月21日(木)～22日(金)
会場 ホテルニューオータニ博多

主催 公益財団法人日本知的障害者福祉協会
九州地区知的障害者福祉協会
福岡県知的障害者福祉協会

2016年度

第28回 全国グループホーム等研修会 九州地区大会 in 福岡

◆大会テーマ◆

「地域全体で支える体制の構築～これからの地域支援体制とは～」

開催目的

平成27年度の報酬改定において、共同生活援助事業では、重い障がい者に対する支援を強化するため、障害支援区分の高い利用者に係る報酬の充実を図るよう、基本報酬や加算の見直しが行われました。近年では、重い障がい者であってもグループホームでの暮らしがほぼ確立されつつあります。

また、平成27年10月現在でのグループホーム利用者が10万人となっており、近い将来に、施設入所支援の利用者を上回ることが予測されます。平成25年4月の障害者総合支援法の施行以来、グループホームが整備促進されるなかで、それぞれのグループホームで利用者の支援内容が多様化しています。利用者の重度高齢化への対応、行動障がいの方々への支援、罪を犯した障がい者への支援、発達障がい者への支援、児童養護施設退所者の支援、虐待被害者への支援等、困難な問題を抱えた人たちへの居住支援が求められています。

平成28年4月1日より「障害者差別解消法」が施行されました。この法律は、障がいのある人への差別をなくすことで、障がいのある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指しています。そのためには、支援している我々が障がい者差別解消への取り組みを進める必要があります。本人の意思決定を支援していくことが求められます。

これまでグループホームは、熱い思いを持った人たちの努力によって発展を遂げました。グループホームの原点は、本人達が障がい故に守られる状態にあっても、家庭や施設を離れて地域社会で「自分なりに楽しく生きる」生活の形を作り出すこと、また自分の意思で生活していく意欲を支えることにありました。

本研修会は、グループホーム関係者や知的障がい福祉に携わる人たちが集まり、全国の多様な実践を学び、大いに交流し、参加者の皆さんが日々の実践に役立てることを目的として開催したいと思います。

熱い思いを胸に持たれた皆様のご参加をお待ちしています。

主催

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
九州地区知的障害者福祉協会 福岡県知的障害者福祉協会

後援 (予定)

福岡県 福岡市 北九州市 福岡県社会福祉協議会
九州地区手をつなぐ育成会連絡協議会 とびうめ知的障害児者生活サポート協会
福岡県知的障害者施設保護者会連合会

第1日目 7月21日(木)

全体会

- 13:30～14:00 開会式
- 14:00～15:10 行政説明
演題 「障害福祉施策の動向 ～グループホームに係る今後の方向性～ (仮題)」
講師：厚生労働省 (調整中)
- 15:30～17:00 基調講演
演題 「これからの地域支援体制に求められること
－ 障害者総合支援法の見直しをふまえて－」
講師：筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授 小澤 温 氏

「プロフィール」 小澤 温 (おざわ あつし)

【学歴および職歴】 東京大学大学院・医学系研究科・博士課程修了。その後、愛知県立心身障害者コロニー発達障害研究所、国立障害者リハビリテーションセンター研究所で障がい児および障がいの者の福祉に関する研究に従事する。大阪市立大学・生活科学部・助教授、東洋大学社会学部およびライフデザイン学部・教授を経て、2011年より、筑波大学・人間系・教授。専門は、障害福祉学 (特に、障がい児、知的障がい、精神障がい)。

【主な著書等】「障害者福祉の世界」(第5版) 有斐閣、「よくわかる障害者福祉」(第6版) ミネルヴァ書房、「相談支援専門員のためのストレングスモデルに基づく障害者ケアマネジメントマニュアル」中央法規出版、「発達障害とその周辺の問題」中山書店、「障害者福祉論－障害者に対する支援と障害者自立支援制度」全社協、「障害の理解」中央法規出版、「概説 障害者権利条約」法律文化社、「生活と福祉」建帛社など。

【現在の主な行政委員】

厚生労働省・社会保障審議会・障害者部会・委員
群馬県・自立支援協議会・会長、および、特別アドバイザー
東京都・障害者施策推進協議会専門部会・副部会長
茨城県・障害者施策推進協議会・委員長
中野区・保健福祉審議会・障害者部会・部会長
板橋区・自立支援協議会・会長
足立区・自立支援協議会・会長

- 18:00～20:00

交流会 ホテルニューオータニ博多 (鶴の間)

開催日時・会場・定員

(1) 開催日時

- ・ 1日目 平成28年7月21日(木) 13:30～20:00(交流会含む)
- ・ 2日目 平成28年7月22日(金) 9:00～11:45

(2) 開催会場

- ・ ホテルニューオータニ博多
〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通1-1-2
TEL 092-714-1111

(3) 参加者定員

- ・ 800名(申込先着順)
- ・ 対象者：グループホーム等関係者、知的障害福祉関係事業所長及び職員世話人、相談支援事業所スタッフ、管理者、サービス管理責任者、行政、関係機関、教育機関並びに知的障害福祉と地域支援等に関心のある方。

参加費用

- ・ 研修会参加費 12,000円
- ・ 交流会費 8,000円

申込締切日

- ・ 平成28年6月10日(金)とさせていただきます。
- ・ 定員になり次第、締切りとさせていただきますことでもありますので、参加希望者の方は早めにお申込みをお願いします。

日程及び内容

【7月21日(木)】

12:30	13:30	14:00	15:10	15:30	17:00	18:00	20:00
受付	開会式	行政説明	休憩	基調講演	休憩	交流会	

【7月22日(金)】

8:30	9:00	11:45
受付	分科会	

(開会式はありません。自由解散となります。)

第2日目 7月22日(金)

分科会 <9:00～11:45>

・今年度は5つの分科会を設けました。

障害者総合支援法施行3年後の見直しに向けた報告書を基に「新たな時代に対応した福祉ビジョン」を提供するために、グループホームの現場の声、取り組み成果等の意見を述べ、平成30年度の報酬改定へ結ぶ分科会とさせていただきます。

●第1分科会●

・テーマ「利用者の高齢化対策と今後の対応・方向性について」

高齢者対策が今後の課題として報酬改定にむけて検討される予定ですが、各事業所でこの問題等に取り組まれている事例を共有し、今後に活かしていくことをこの分科会で進めて行きましょう。

*司会進行：あゆみ会 ホームヘルプコスモス 大内田弘憲 氏 (長崎県)

*助言者 幸得会 統括施設長 得田 和明 氏 (岩手県)

*発題者1 悠久会 都久志荘 サービス管理責任者 前田 耕平 氏 (長崎県)

*発題者2 伊達コスモス21 統括事業管理者 大垣 勲男 氏 (北海道)

*発題者3 ゆたか福祉会 ゆたか生活支援事業所 なるお
サービス管理責任者 江崎 智美 氏 (愛知県)

●第2分科会●

・テーマ「意思決定支援に伴う暮らしの中身について」

障害者権利条約に伴う国内法の整備が進む中、グループホームにおける意思決定支援の在り方に取り組み、どの様に活かされているのかを事例として提案し、今後、地域において意思決定支援の推進を考えていきましょう。

*司会進行：めぐみ厚生センター ピースハイム 川崎 俊朗 氏 (佐賀県)

*助言者 愛光園 障がい福祉事業部 部長 渡部 等 氏 (愛知県)

*発題者1 しがらき会 しがらき地域生活支援センター
世話人 杉本 朋子 氏
生活支援員 前野 綾那 氏 (滋賀県)

*発題者2 武田塾 高井田苑
サービス管理責任者 藤江 伸和 氏 (大阪府)

*発題者3 カナンの園 グループホーム HANA事業所
生活支援員 渡邊 英紀 氏 (岩手県)

●第3分科会●

・テーマ「地域生活を支援する拠点とは・・・」

地域生活支援拠点として国モデル事業を参考に「拠点」とは・・・を議論しながら、すでに取り組みられている事例を参考に、29年度末までに各都道府県で実施できるよう、議論しましょう。

*司会進行：博愛会 博愛会地域総合支援センター 赤嶺 光徳 氏（大分県）

*助言者 もえぎの会 もえぎの里 施設長 石本 伸也 氏（香川県）

*発題者1 中越福社会 みのわの里工房こしじ施設長 涌井 幸夫 氏（新潟県）

*発題者2 幸福会 統括施設長 花宮 良治 氏（大分県）

*発題者3 鳥取県厚生事業団 しらはまホーム
サービス管理責任者 松田めぐみ 氏（鳥取県）

●第4分科会●

・テーマ「グループホームの仕事は楽しいよね！」

グループホームで働くことの「やりがい・生きがい」とはなんでしょうか。グループホームは世話人や支援員の皆さんによって支えられています。利用者さんと地域住民がより良い関係を築くためにはどうすればよいのか、また、働く人材の確保や夜間支援の在り方等、ホームの運営に際しどのような工夫が必要なのか、日々の業務で抱えている思いや疑問等について語り合いましょう。

*司会進行：エデンの園 エデンの園 廣瀬 恵 氏（宮崎県）

*助言者 NIKORI 統括施設長 山崎千恵美 氏（北海道）

*発題者1 巴会 あすなろの里 地域福祉課長 大坪 暁人 氏（宮崎県）

*発題者2 愛育会 愛育会地域生活総合支援センター
サービス管理責任者 阿部愛結美 氏（徳島県）

*発題者3 あさみどりの会 わらび共同生活援助事業所
サービス管理責任者 近藤 竜也 氏（愛知県）

●第5分科会●

・テーマ「専門性を必要とする居住支援への取り組み」

これからの障がい者グループホームは対象範囲が大きく拡大し、更なる専門性が求められています。そのために何をしなければならぬか検証しましょう。また、すでに取り組みされている事例等を参考に居住支援の在り方を検討していきましょう。

*司会進行：そてつの会 ドリームワークそてつ 盛島 光司 氏（沖縄県）

*助言者 三富福社会 理事長 山西 孝 氏（山梨県）

*発題者1 ハイジ福社会 グリーンホーム 施設長 伊佐 智樹 氏（沖縄県）

*発題者2 原町成年寮 地域生活援助センター 共同生活援助事業所
かつしかセンター 副所長 久保 玄 氏（東京都）

*発題者3 侑愛会 おしまコロニー 星が丘寮
施設長 中野伊知郎 氏（北海道）